

図書

ゲストティーチャー

井上 直子さん 紙芝居いっぷく座・鶴二小卒業生



図書の時間は、本の貸し出しの他に、図書指導員さんが本の読み聞かせをしてくださっています。毎回、授業や行事などに関連したものを選んでくださっていて、子どもたちの豊かな発想につながっています。

その図書の時間に、紙芝居いっぷく座の主宰をされている井上さんにお越しいただき、昔話を中心としたお手製の紙芝居を披露していただいています。昔話を聞く機会が減っているため、昔の言葉になじみのない子どもたちが増えています。井上さんは、紙芝居を始める前後に、話中に出てくるキーワードを説明したり、行事に関連付けてエピソードを紹介したりすることで、紙芝居をより楽しんでもらえればと話されていました。

2年 「どっこいだんご」



田植えの時期にぴったりの楽しいお話。「だんご、だんご！」の元気なかけ声が「どっこいしょ！」に変わるところが面白かったですね。「お団子を作ってみたくなった」という声も上がっていました。

3年 「ふるやのもり」



暗い雨の夜に繰り広げられる、勘違いが引き起こす面白いお話。おおかみと泥棒がともに怖がる姿に笑いが起こります。「泥棒はどうなった?」「サルの尻尾は大丈夫?」と想像を楽しんでいました。

6年 「眠り猫」

→日光宿泊研修



日光の事前学習が始まる時期にあわせて、「眠り猫」の作者である左甚五郎のお話を聞きました。左甚五郎がなぜ眠っている猫にしたのかを知り、「眠り猫」と「雀」を現地で見るのが楽しみのひとつとなった子どもたちでした。